

災害時の感染対策グッズについて

日常生活を変えてしまうような大きな災害が起きた時、ライフラインの遮断や避難所での生活などで、感染のリスクが増大し、感染症が流行しやすくなります。

今回は備えておきたい「感染対策グッズ」についてご紹介します。

備えておきたい感染対策グッズ

グッズ	用 途	防げる感染
マスク	・咳やくしゃみの症状がある時の咳エチケットとして ・喉の乾燥対策 ・土ほこり、アレルギー対策	飛沫感染
石けん ペーパータオル	・水がある時の手指衛生 (タオルは洗濯ができない可能性もあるため、濡れた手を拭くためのペーパータオルが必要です。)	接触感染
アルコール手指消毒液	・水がない時の手指衛生	接触感染
ウェットティッシュ	・手や体を清潔に保つ ・生活環境の拭き取り	接触感染
液体歯磨き 歯磨きシート	・水がない時の口腔ケア ・水がない時の入れ歯ケア	誤嚥性肺炎
食品用ラップ	・水がない時は食器洗いができないため、食器の上に敷くなどして使用	食中毒
使い捨て手袋 ポリ袋	・便や嘔吐物、血液などに触れる時は手袋を着用 (ポリ袋で代用可能です。) ・ポリ袋はゴミ袋としても使用	接触感染
水	・飲料、手洗い、歯磨き、傷口の洗浄など (必要になるタイミングが多々あるため、多めに準備しましょう。)	接触感染
絆創膏 (消毒薬)	・災害時に怪我をした場合に使用 (医療機関の受診が第一優先ですが、まず傷口は水で洗浄して汚れを落とし消毒をした上で、絆創膏を貼り、傷口からのばい菌 (病原微生物) の侵入を防ぎましょう。)	破傷風
簡易トイレ 紙おむつ	・トイレが使用できない時などに使用 (排泄は我慢しないようにしましょう。)	尿路感染症

準備しているグッズは、定期的に使用期限や破損がないか点検しましょう。また、使用時に慌てないよう使用方法を確認しておくことも大切です。

災害はいつ起こるかわかりません。自分自身や大切な人を感染症から守るため、一般的な災害対策グッズに加え、感染対策に関するグッズも準備しておきましょう。

【問合せ先】健康増進課 ☎ 029-240-7134 (直通)

入居のご相談も随時対応しております。ショートステイもご利用できます。



グループホームひぬまの杜 ☎029-240-8321
東茨城郡茨城町中石崎1055 担当/渡邊・清水

募
入
居
者

募
職
集
員



グループホームひぬま ☎029-240-8117
東茨城郡茨城町中石崎159-1 担当/渡邊・田口

7/4
(土)

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支援しよう
“社会を明るくする運動”
街頭キャンペーン



7月は“社会を明るくする運動”強調月間であることから、イオンタウン水戸南において街頭キャンペーンを実施しました。この運動は、犯罪や非行のない明るい地域社会を築こうとする全国的な運動で、今年で76回目を迎えます。

当日は、小林宣夫町長や茨城町保護司会等11団体の会長らと町職員の73名が参加し、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人の更生について理解を深めることを呼びかけました。

【参加団体】

茨城町保護司会、茨城町更生保護女性会、水戸警察署茨城地区交番、水戸地区防犯連絡員協議会茨城支部、茨城町民生委員児童委員協議会、茨城町学校長会、青少年育成茨城町民会議、茨城町青少年相談員連絡協議会、茨城町女性会連絡協議会、茨城町社会福祉協議会事務局、町内中学校の生徒の皆さん

7/17
(金)

湖沼の安全を祈願
湖上安全祈願祭



湖沼の本格的な夏の観光シーズンを前に、茨城町観光協会(澤秀雄会長)は、漁業者をはじめ湖沼を訪れる観光客などの安全を願い「湖上安全祈願祭」を執り行いました。

祈願祭には、澤会長、小林町長、久保田良一町議会議長をはじめ筋原農業委員会会長、大湖沼漁業協同組合関係者、茨城町観光協会理事らが参列しました。

宮司が祝詞を奏上したあと、一人ひとり玉串をささげ湖沼での水難事故等が起きないよう祈願しました。

6/21
(日)

大切な命を守るために
避難力強化訓練を実施



台風や集中豪雨による風水害に備えた避難力強化訓練を実施しました。

青葉中学校と旧上野合小学校の各体育館に避難所を開設し、町民の方々が、避難経路や町の災害用備蓄品の確認をしたほか、ハザードマップの活用や災害情報の取得方法を学びました。また、町職員は、避難所開設や避難行動要支援者への情報伝達訓練および搬送訓練を行い、災害時の対応方法を確認しました。

今後もさまざまな災害に対応できるように、訓練等を通じて、町民の皆さまと一緒に対策を進めていきます。

7/10
(金)

大戸小学校で開催
いじめをなくそう 人権教室



大戸小学校の4年生を対象に、人権教室が開催されました。

人権教室は、人権擁護委員が中心となり、児童・生徒にいじめ等の人権問題を考える機会を作ることにより、相手への思いやりの心や命の大切さを学んでもらうことを目的に開催されています。

児童たちは、ビデオを見て、「どう感じたか?」「自分が登場人物の立場だったら?」をそれぞれまとめ、発表をしました。

最後に人権擁護委員から、「皆さんに心配なことや困ったことがあるときは、お父さんやお母さん、先生にお話してください。」とお話がありました。